

平成27年度事業報告書

1 事業概要

1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業（無料職業紹介事業含む）
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

2) 事業実績

(1) 農地利用集積円滑化事業【公1】

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家、規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として賃貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスを行い、具体的な利用権設定及び所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積及び流動化の推進に努めた。

また、昨年度に引き続き、公益財団法人栃木県農業振興公社に設置された農地中間管理機構が実施する農地の貸借事業について、地域の実情に精通している当公社が業務の一部を受託し、相談窓口の開設、機構集積協力金に絡む農地の貸付け、公募による農地の借受望者の受付等の業務を行った。

加えて、農地中間管理事業の促進を目的に4月から推進員1名を雇用し、事業内容や制度の活用を周知するほか、農地の出し手や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

○合同受付・相談会開催日 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

		27.4月	5月	6月	7月	8月	9月
利 用 権	黒 磯	4/3	—	6/9	7/6,7	—	9/8,9
	西那須野	4/2	—	6/11	—	—	9/10
	塩 原	—	—	6/11	—	—	9/10

		10月	11月	12月	28.1月	2月	3月
利用権	黒磯	10/5	11/2	12/7	1/12	2/8, 29	—
	西那須野	10/5	—	12/8	1/14	2/10	3/1
	塩原	—	11/4	12/8	1/15	2/10	3/3

		27.4月	5月	6月	7月	8月	9月
所有権移転		4/23	5/18	6/18	7/22	8/21	6/18
		10月	11月	12月	28.1月	2月	3月
		10/27	11/25	12/16	1/20	2/22	3/23

○27年度利用権設定等実績（平成28年3月31日現在）

期末貸借総ストック

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
期末貸借総ストック	1,757	1,653.3	1,260.0	393.3
前年度(比較%)	1,641 (107.0)	1,534.3 (107.7)	1,156.0 (108.9)	378.3 (103.9)

当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定		162	159.6	132.9	26.7
再設定		233	206.0	169.8	36.2
前年度 (比較%)	新規	116 (139.6)	106.2 (150.2)	83.2 (159.7)	23.0 (116.0)
	再設定	209 (111.4)	206.2 (99.9)	163.2 (104.0)	43.0 (84.1)

①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約の締結を実施した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸借契約を実施した。

なお、集積面積が前年度に比べ減少しているのは、中間管理機構を通じた新規の貸借が増えたこと等が挙げられる。

○当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定		70	62.6	51.4	11.2
再設定		158	152.5	120.6	31.9
前年度 (比較%)	新規	76 (92.1)	70.5 (88.7)	55.1 (93.2)	15.4 (72.7)
	再設定	153 (103.2)	164.7 (92.5)	132.7 (90.8)	32.0 (99.6)

②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借受けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

これに合わせて、その農地の新たな貸付先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸付けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替及び貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ増加しているのは、農地中間管理機構ではなく市農業公社を通じての新規賃貸借が増えたことや、当年度において期間満了を迎える契約件数自体が多かったことが挙げられる。

○当年度内集積実績

		借入件数	貸付件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
新規設定		13	13	10.6	9.2	1.4
再設定		39	36	53.5	49.2	4.3
前年度 (比較%)	新規	6 (216.6)	5 (260.0)	1.8 (588.8)	1.2 (766.6)	0.6 (233.3)
	再設定	27 (144.4)	29 (124.1)	41.5 (128.9)	30.5 (161.3)	11.0 (39.0)

○当年度内取扱実績

	借り手振替件数	貸し手振込件数	賃借料
平成 27 年度	243	235	41,553 千円
前年度(比較%)	224 (108.4)	227 (103.5)	42,629 千円(97.4)

③農地中間管理事業

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理機構を通じた農地の貸借事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家からの農地の貸付けに関する相談等に応じ、農地中間管理機構を通じた農地の貸付けや機構集積協力金の活用について支援を行った。

これに合せて、自身の農業経営の規模拡大を希望する認定農業者や新規就農者等からの農地の借受けに関する相談に応じ、農地中間管理機構が公募する農地の借受希望者としての申請や、農地の出し手とのマッチング等の支援を行った。

加えて、事業推進員が各農家、農業委員及び地区推進員を訪問し、事業の普及活動や地域の農地の異動状況等の情報収集を行ったほか、人・農地プランに基づいて農地の出し手や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

○当年度内集積実績

	借入件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
平成 27 年度	66	86.4	72.3	14.1
前年度(比較%)	29 (227.5)	33.9 (254.8)	26.9 (268.7)	7.0 (201.4)

○借受希望者の公募状況

	市内件数	市外件数
平成27年度	117	4
前年度(比較%)	172 (68.0)	12 (33.3)

○推進員活動状況

- ・実施期間 平成27年4月15日 ～ 平成28年3月31日
- ・推進員数 1名
- ・活動日数 延べ 97日 (599.5時間)
- ・活動距離 延べ 3,945km
- ・訪問者数 次表のとおり

訪問先	訪問者数(回数)
農地の出し手(農地の貸付希望者)	26(41)
地域の担い手(認定農業者、新規就農者)	40(52)
農業委員他(農業委員、地区推進員)	110(164)

※訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1名の所へ複数回訪問しているため。

④農地売買等事業(特例事業)

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理事業の特例事業として農用地のあっせんに係る事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買受予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、県農業公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。

また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

○当年度内集積実績

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
所有者から県公社へ売渡し	19	17.3	9.9	7.4
前年度(比較%)	14(135.7)	11.1(155.8)	6.8(145.5)	4.3(172.0)
県公社から県公社へ売渡し	20	20.8	11.8	9.0
前年度(比較%)	13(153.8)	10.6(196.2)	8.3(142.1)	4.3(209.3)

⑤機構集積協力金推進事業

農地中間管理機構を通じた農地の貸付けの相談時には、機構集積協力金の制度の説明を行うとともに、対象者の受給要件の確認や調査業務を適正に行い、協力金活用の推進を図った。

○農地中間管理機構集合指導会の開催

- ・ 6月15日（月）～6月17日（水）
- ・ 農地の出し手27名、農地の借り手19名

○機構集積協力金交付実績

	交付額（対象戸数）	交付内容
経営転換協力金	300,000円（1）	50a未満／300,000円
	11,500,000円（7）	50a～2ha／500,000円
	6,900,000円（9）	2ha以上／700,000円
耕作者集積協力金	3,944,000円（18）	10a／20,000円

(2) 農業者研修育成事業【公1】

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

①農業経営改善講演会の開催【公1】

経営管理能力の向上、農業農村の活性化及び農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。また、TPPをはじめとする国際競争化への対応や食料自給率の向上、安全・安心な食料の安定供給への要請に応えなければならないなど、農業農村を取り巻く環境は大きな転換期に差し掛かっている中、本市の農業者が最新の情報を取得し経営管理能力向上の一助とすべく、有識者を招いて農業経営改善講演会を開催した。

開催日	実施内容	人数
12月11日(金)	農業経営改善講演会 『不安定化する国際食糧事情と日本農業の課題』 講師：株式会社資源・食糧問題研究所代表 柴田 明夫氏 会場：いきいきふれあいセンター	120名

②農業者海外研修派遣事業【公1】

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応できる

優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

県農業公社主催の短期研修については、参加者2名がヨーロッパ3か国の様々な農業経営のあり方を視察し、大規模農業経営、減農薬や有機栽培への取組、食の安全性へのこだわり、生産・加工・販売の確立等について学んだ。

帰国後は、市長への報告をはじめ解団式において研修内容の発表を行ったほか、12月には、那須野が原青少年クラブ協議会主催の実績意見発表会において報告を行い、総まとめとして平成28年1月に農業経営改善計画審査会の中で実施報告を行った。今後においては地域農業の発展のために活発な活動が期待できるものとする。

また、公益社団法人国際農業者交流協会主催の長期研修については、現在1名が平成27年3月からアメリカ合衆国において酪農を中心とした大規模農業経営と最新技術などを学んでおり、平成28年10月に帰国予定である。

研修期間	内 容	参加者数
27.9.28～10.7	短期海外派遣研修（オランダ、ドイツ、フランス）	2名
27.3.20～ 28.10.4	長期海外派遣研修（アメリカ合衆国）	1名

③農村生活研究グループ協議会活動支援【公1】

平成27年度から農村生活研究グループの事務局が市農務畜産課から農業公社に移り、年間を通して次の事業を行った。また、産業文化祭や那須地区農村生活研究グループ協議会主催の事業へも積極的に参加した。

○農村生活研究グループ協議会活動内容

開催日	会議・研修名	実 施 内 容	人数
4月14日(火)	那須地区農村生活研究グループ協議会第1回役員会	平成27年度活動計画について ほか	3名
5月12日(火)	会員全員検討会	平成27年度活動計画について	10名
6月2日(火)	那須地方農村女性会議第14回定期総会	平成26年度事業報告 収支決算承認 平成27年度事業計画 収支予算について ほか	2名
6月10日(水)	食育講座検討会	槻沢小学校3年生食育講座事前準備	5名
6月12日(金)	那須地区農村生活研究グループ協議会第2回役員会	食と農の交流会について	3名
6月24日(水)	第1回食育講座	槻沢小学校3年生食育講座	7名
7月9日(木)	視察研修旅行	「あねさん工房」「うまい屋」への6次産業事業所先進地視察	14名
8月1日(土)	第2回食育講座	三島小学校ハヤブサⅢ班子供育成会料理講座 ピザづくり	3名
8月5日(水)	やさしいマーケティングとブランディングセミナー	ぐるなび講師による6次産業のマーケティングとブランディングの講義	3名

8月20日(木)	パートナーシップで築く農業経営研修会	家族経営と次世代農業者事例発表 ほか	7名
8月26日(水)	グループリーダー養成研修会	J A健康寿命100歳プロジェクト	3名
9月4日(金)	那須地方食と農の交流会	牛乳・乳製品を使用した和食作り	5名
9月8日(金)	第1回役員会	今後の活動内容について	5名
10月1日(木)	出張食育講座「親子おにぎり作り」	大原間小学校 4年生親子を対象におにぎり作り講習と食育紙芝居を行った。	5名
10月17日(土)	産業文化祭事前準備	産業文化祭で販売する商品の準備	13名
10月18日(日)	産業文化祭	「いも汁」「豆おこわ」「ジュース」の販売	10名
10月21日(水)	那須地区農村生活研究グループ協議会第3回役員会	活動交流交換会等についての協議	3名
11月18日(水)	那須地方農政講演会	「米価1万円時代を勝ち抜く地域農業戦略」講演会参加	7名
11月20日(金)	伝承料理講習会	次世代に残したい伝承料理の講習会「赤飯」「けんちん汁」「きんぴら」の作成	9名
11月29日(日)	高林公民館料理教室 1	講師の派遣、公民館事業への参加 「おまんじゅうづくり」	9名
12月1日(火)	那須地区農村生活研究グループ意見交換会事前準備	発表内容の確認、練習	8名
12月15日(火)	那須地区農村生活研究グループ意見交換会	「私たちの今年度の活動」発表、成果品の販売	8名
12月20日(日)	高林公民館料理教室 2	講師の派遣、公民館事業への参加 「お正月料理(伊達巻、きんとん)」	11名
1月21日(木)	懇親会	総会、今後の活動内容についての協議 創作フレンチ料理：ブラスリースレイユ	14名
1月24日(日)	高林公民館料理教室 3	講師の派遣、公民館事業への参加 「飾り寿司(2種類)」	12名
2月7日(日)	高林公民館料理教室 4	講師の派遣、公民館事業への参加 「とちぎの郷土料理しもつかれ」	10名
2月26日(金)	第2回役員会	総会について	4名
2月29日(月)	定期総会、講習会	総会后、「あねさんかぶり頭巾」作成の講習会	15名
3月4日(金)	那須地区定期総会	那須地区定期総会 那須農業振興事務所	8名
3月4日(金)	那須地区農村生活研究グループリーダー研修会	「食から地元農産物の魅力を伝える」 講師：宇都宮大学教育学部准教授 大森玲子氏	8名
3月24日(木)	県定期総会	県定期総会、大出陽子名誉農業士の講話：とちぎアグリプラザ	3名

(3) 認定農業者育成事業【公1】

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしながら、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と併せて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織化し、かつ、その強化を図り、会が中心となって講演会、講習会、研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

①農業経営改善計画書の作成支援及び審査【公1】

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を毎月1回実施し、認定農業者の確保及び新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会を毎月1回開催し、計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、経営改善計画の後押しを目的に平成25年に国が策定した新たな経営指標については、認定日から5年目を迎えた認定農業者については経営改善計画書の更新時に取組状況の確認を行い、3年目を迎えた認定農業者については集合指導会を開催し、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨周知を図った。

なお、認定農業者数が年度当初の601名から645名に増加した理由については、再認定の手続が遅れて認定期間が切れてしまった者への資格取得の促進活動や国の制度や施策（畑作物の直接支払交付金、米・畑作物の収入減少影響緩和対策）が認定農業者等を中心に実施され、活用を希望する者が増加したことが挙げられる。

○認定農業者数の推移 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	27.4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	611	612	637	637	637	641
(当月認定者数)	(33)	(21)	(51)	(-)	(12)	(13)
	10月	11月	12月	28.1月	2月	3月
認定農業者数	641	637	646	642	641	645
(当月認定者数)	(7)	(3)	(13)	(4)	(9)	(22)

○認定農業者数（地区別） (平成28年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
28年3月末	398	142	105	645
平成27年度内認定(うち新規)	119 (44)	40 (20)	29 (17)	188 (81)
27年3月末(比較%)	379 (105.0)	129 (110.0)	93 (112.9)	601 (107.3)

○新たな経営指標への取組状況

- 認定3年目（平成24年度認定） 36名（9/8～10の集合指導会時に確認）
- 認定5年目（平成22年度認定） 107名（再認定の更新時に確認）

○集合指導会開催日

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	27.4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒磯	4/3	5/19, 20	6/9, 10	7/6, 7	8/3	9/8, 9
西那須野	4/2	—	6/11	—	8/4	9/10
塩原	4/6	—	6/11	—	8/5	9/10
審査会	4/30	5/28	6/26	7/27	8/27	—
	10月	11月	12月	28.1月	2月	3月
黒磯	—	11/10	12/7	1/12, 13	—	3/2
西那須野	—	11/10	12/8	1/14	—	3/1
塩原	—	—	12/8	—	—	3/3
審査会	10/2	11/26	—	1/22	2/26	3/23

②認定農業者の育成・支援及び認定農業者の会の運営【公1】

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、今年度は新たな執行部体制の下、昨年度の反省点を踏まえながら適宜役員会と班長会議を開催し、新たな事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めた。

全体事業としては、会員の資質向上を目的とした活動として、宮崎県で開催された第16回全国農業担い手サミットへの参加のほか、県外の大規模土地利用型農家や畜産農家や6次産業化振興イベントの視察、茨城県ひたちなか市との姉妹都市交流会等を開催した。

また、地域事業としては、農業理解及び地域貢献を目的とした活動として、農産物のPRイベントの開催や県内の循環型堆肥生産施設、道の駅、6次産業化に取り組む農家の視察研修等を開催した。

その他、当社が主催する農業経営改善に関する講演会や講習会、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的な参加を図った。

○認定農業者の会研修・事業等

開催日	実施内容	人数
4月24日(金)	那須地区認定農業者協議会第1回役員会	13名
4月28日(火)	第1回役員会	13名
6月8日(月)	第1回班長会議(東那須野地区)	9名
6月10日(水)	第1回班長会議(鍋掛地区)	8名
6月12日(金)	第1回班長会議(黒磯地区)	6名
6月16日(火)	第1回班長会議(高林地区)	11名
6月17日(水)	第1回班長会議(西那須野・狩野地区)	10名
6月19日(金)	第1回班長会議(箒根地区)	7名
7月10日(金)	那須地区認定農業者協議会視察研修会 ※群馬県(カネコ種苗、JA東日本くみあい飼料)	2名
7月30日(木)	先進地視察研修会 ※茨城県(常総市/佐藤宏弥氏、坂東市/中田伸一氏)	27名
8月19日(水)	6次産業化視察研修会 ※東京都(アグリフードEXP02015、白鶴銀座天空農園)	24名
8月20日(木)	那須地区認定農業者協議会協力事業 パートナーシップで築く農業経営研修会(いきいきふれあいセンター)	3名
10月1日(木)	西那須野・狩野地区班長会議(西那須野公民館) ※地域事業の実施について	11名
10月7日(水)	東那須野地区班長会議(東那須野公民館) ※地域事業の実施について	11名
10月18日(日)	西那須野・狩野地区事業(畜産フェア会場) ※農産物のPR事業(新米つかみどり他)	9名
10月21日(水)	箒根地区班長会議(ハロープラザ) ※地域事業の実施について	11名
10月22日(木)	高林地区班長会議(高林公民館) ※地域事業の実施について	11名
10月24日(土)	東那須野地区事業(巻狩まつり会場) ※農産物のPR事業(新米つかみどり、おにぎり試食)	15名
10月28日(水)	鍋掛地区班長会議、フォトコンテスト審査会(鍋掛公民館) ※地域事業の実施について	8名
11月3日(火・祝)	東那須野地区事業(JR那須塩原駅構内) ※農産物のPR事業(新米無料配布)	8名
11月8日(日)	鍋掛地区事業(鍋掛公民館まつり会場) ※フォトコンテスト展示、表彰式	5名
	箒根地区事業(アグリパル塩原 収穫祭会場) ※農産物のPR事業(新米つかみどり、牛乳試飲)	7名
11月10日(火) 11月11日(水)	全国農業担い手サミット in みやぎ(宮城県宮崎市、日南市) ※全体会、現地交流会、現地視察他	4名
11月15日(日)	高林地区事業(道の駅明治の森黒磯 収穫祭会場) ※農産物のPR事業(新米つかみどり、牛乳試飲)	13名
11月19日(木)	平成27年度栃木県農業担い手躍進大会(パルティとちぎ) ※優良担い手表彰式、講演会	8名

1月26日(火)	第3回役員会	15名
1月28日(木)	那須地区認定農業者協議会第2回役員会	2名
2月16日(火)	姉妹都市交流会(茨城県ひたちなか市) ※JA加工施設、飛田勝治氏(ほしいも)、安勝徳氏(トマト)	43名
3月4日(金)	四地区(黒磯・西那須野・狩野・塩原地区)合同事業 ※那珂川町(株)ピラミッド、道の駅ばとう、岩村文郎氏他	23名
3月8日(火)	那須地区認定農業者協議会視察研修会 ※平成27年度日本農林漁業トップリーダー発表会	3名
3月11日(金)	第4回役員会、平成27年度会計監査	14名
3月16日(水)	平成27定期総会、農業・農村地域活性化講演会	95名
3月18日(金)	那須地区認定農業者協議会第3回役員会	2名
3月25日(木)	那須地区認定農業者協議会定期総会	5名

③青年等就農計画認定審査及び青年就農給付金承認審査【公1】

農業者の高齢化に伴い新たな担い手の確保が急務となる中、今年度から農業経営に意欲的に取り組む農業後継者や青年等就農者の確実な定着と育成を目的とした事業への新たな取組を開始した。

具体的には、非農家の就農希望者や農家子弟の新規就農者からの相談に対し、新規就農者向けの様々な制度(認定新規就農者の資格取得、青年就農給付金)の紹介をはじめ、その活用方法について模索を図り、新たな担い手の発掘と確保に努めた。

○就農計画・給付金認定実績

青年等就農計画認定者数	6名
青年就農給付金認定者数	2名(経営開始型)
認定審査会開催数	4回(4/30、5/28、6/26、2/26)
新規就農相談者数	23名

(4) 農林業施設の管理運営事業【公2】

①青木ふるさと物産センター管理運営事業【公2】

青木ふるさと物産センターの指定管理者として、本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを実施し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

平成27年度「明治の森・黒磯」利用状況

	道の駅利用者数	利用者 前年比	売上高計	売上高 前年比	記念館	前年比
					青木邸有料入館者数	
4月	36,905名	103.8%	11,879,072円	104.1%	637名	85.6%
5月	51,565名	112.5%	18,306,129円	114.3%	1,461名	102.6%
6月	41,705名	111.7%	12,098,925円	105.8%	817名	118.6%
7月	50,910名	106.4%	15,480,524円	108.0%	1,011名	97.9%
8月	68,515名	104.5%	23,541,135円	104.4%	1,760名	87.1%
9月	54,850名	99.0%	17,763,476円	105.4%	1,357名	124.2%
10月	58,650名	116.3%	18,965,845円	123.4%	2,188名	206.2%
11月	42,315名	98.9%	13,262,897円	102.4%	1,170名	123.0%
12月	33,635名	119.2%	10,833,743円	125.6%	306名	152.2%
1月	21,635名	101.4%	6,977,753円	106.8%	309名	161.8%
2月	23,435名	107.0%	7,670,218円	111.2%	343名	161.8%
3月	32,560名	104.5%	10,579,082円	102.2%	523名	129.1%
計	516,680名	106.9%	167,358,799円	109.1%	11,882名	118.5%

※利用者数は推定、青木邸は実数である。

イベント内容

イベント名	開催日	主な内容	来客数(名)
春の感謝祭	4月26日	割引販売 堆肥の無料配布 鍋・牛乳の無料配布	2,680
那須高原ロングライド エイドステーション	7月12日	飲料水、スポーツドリンク、きゅうりの漬物を配布	—
夏の感謝祭	8月2日	野菜の割引販売 堆肥の無料配布 オカリナコンサート	3,180
マロニエプラザ感謝祭 (宇都宮市)	8月22日	市特産品、産直野菜、道の駅PR	10,000
野菜の日	8月31日	野菜の割引販売 牛乳の無料配布	1,820
収穫祭	11月15日	割引販売 堆肥の無料配布 鍋の無料配布 新米つかみ取り	2,860
クリスマスイベント	12月23日	ホットミルクの無料配布 卵のつかみ取り	1,560
初売り	1月5日	おしるこの無料配布 福袋販売 お楽しみ抽選会	1,230
バレンタインイベント	2月14日	チョコマシュマロの無料配布 じゃんけんイベント	1,180
ひな祭りイベント	2月28日	甘酒、ポップコーンの無料配布 ひし餅抽選会	1,530

※来客数については推定である。

②青木ふるさと物産センターにおける収益事業【収1】

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の野菜不足解消のため商品の仕入販売、七夕・クリスマスツリー・つるし雛等季節の飾りつけをし、利用者の確保に努めた。また、野菜や加工品生産者のPOPを売場に設置し、生産者の顔の分かる売場を目指した。

ホームページやWiFi機能を生かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

③道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、トイレ、駐車場など道の駅全体の良好な維持管理に努めた。また、ハンナガーデンに季節の花を植栽し、訪れる人へのやすらぎの場を提供した。

④とちぎ明治の森記念館維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸の適切な管理を行った。また、文化財防火デーに合わせ、那須地区消防組合と合同での消防訓練も実施し、利用者が安心して施設を利用できるように努めた。

(5) 都市農村交流促進事業【公1】

①ふれあい農園管理

都市住民の野菜等の栽培を通じて自然と触れ合いたいというニーズに応え、市内の遊休農地等の未利用農地を有効活用し、市民を対象としたふれあい農園を開設し、管理業務を行った。

利用者は、自然との触れ合いを通じて農業への理解を深め、農地所有者においても農作物の作付けや農作業の相談を受ける等、お互いに交流を図ることで都市と農村との相互理解を深めている。

管理面においては、農園の利用状況について適宜現地確認を行い、不良箇所の整備、利用者からの苦情等への対応を図った。加えてホームページで農園情報を公開し、空き区画への対応等利用率の向上に努めた。

○ふれあい農園利用状況

(平成28年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
農園箇所	6	6	2	14
区画数	113	179	40	332
利用区画数	100	179	26	305
前年度(比較%)	99 (101.0)	170 (105.2)	28 (92.8)	297 (102.6)

※塩原地区の利用区画数の減少… 利用者の高齢化による利用の取りやめ等が挙げられる。

②農業体験交流

農村資源の有効活用と農村地域の活性化を目的に、農業体験を含んだ都市農村交流ツアーやウォーキングイベントを県や市と協力しながら実施した。

また、地元の小学生に農業の体験、収穫の喜びを学んでもらうため、収穫体験を行った。

開催日	事業名	実施内容	人数
6月30日(火)	青木小学校収穫体験	青木小学校6年生によるトマト収穫体験	20名
10月27日(火)	青木小学校収穫体験	青木小学校4年生によるさつま芋収穫体験	13名
10月31日(土)	テーマ別協働実践事業	道の駅発着の田園ウォーキング	99名
	とちぎの農村誘客促進事業	農業体験ツアー	5名

(6) 農業情報の収集、分析、提供事業【公1】

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報の収集、分析及び提供を行い、農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広い情報発信を行うとともに、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得できるよう整備し、利用者の利便性を図った。

加えて、公益を増進する公益法人として、高まる情報公開の必要性から定款、事業計画、正味財産増減予算書等の公開に努めた。

(7) 地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業【公1】

地域の資源を活用した特産品を開発するための調査研修を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行った。

① 地元農産物を使用した特産品の試作、研究開発

那須塩原バター普及研究会から、那須塩原産生乳を利用した発酵バター及び低脂肪ヨーグルトの商品化並びに独自乳飲料専用乳酸菌の宇都宮大学との共同研究開発に関する申請書が提出され、助成金の交付を行った。

事業名	那須塩原産生乳を利用したプレミアム発酵バター並びに残り95%産出されるバター副産物を使った低脂肪ヨーグルト及び独自乳飲料専用乳酸菌の共同研究開発及び商品化
団体名	那須塩原バター普及研究会

事業内容	バター副産物に付加価値を付け、バターにかかっていたコストの高負荷を抑え、生乳を100%有効活用する製法・利用システムの開発を目的とする。また宇都宮大学で研究されてきたバター及び副産物高付加価値利用・乳酸飲料向け乳酸菌の更なる改良を行い、より美味しくし、商品価値を上げることを目的とする。
実施期間	平成27年8月～平成28年1月
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 発酵バター、乳酸飲料に適した乳酸菌を目指し、複数の乳酸菌の混合実験を行い、バター普及研究会が独自に利用できる乳酸菌の開発を行った。 2 商業製造設備を使用し、製造試験を実施し製造方法の確認・評価を行った。 3 生乳（ホルスタイン乳、ジャージー牛）の違いによる、バターの製造を行い、製品評価を行った。 4 バター副産物の冷凍保存状態と冷凍製品を使った副産物利用について実験を行った。

② 地元農産物及び加工品を活用したギフト作り

地元農産物及び農産物加工品を活用したギフト作りとして、道の駅「明治の森・黒磯」のお中元とお歳暮セットの開発・研究を行った。

○販売実績

	ギフト名	販売実績
お中元セット	青木季節の野菜詰め合わせセット	14 個
お歳暮セット	青木ふるさとトマト鍋セット	37 個
	麦とろろ雑煮セット	22 個

③ 市ふるさと納税のお礼品の販売

ふるさと納税のお礼品として、道の駅「明治の森・黒磯」季節の野菜詰め合わせセットの販売を行った。

○販売実績

ギフト名	販売実績
季節の野菜詰め合わせセット	111 個
麦みそと野菜の詰め合わせセット	52 個
リンゴの箱詰め	77 個

(8) シルバーファーマー事業【公1】

①シルバーファーマー養成支援塾

平成24年度から当社が市農務畜産課から委託を受け、農業に関心があり、労働意欲が旺盛な60歳前後の市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するためのシルバーファーマー養成支援

塾を開催した。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い、農業者としての知識と技術の習得に努めた。

具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成27年4月19日～平成27年12月6日
受講者数	13名（男性10名 女性3名）
研修場所	栃木県農業試験場黒磯農場
実施回数	20回（机上研修・圃場研修・実地研修）
講師数	5名
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、ねぎ、にんじん、大根、白菜、ほうれん草
実地研修	5/17 遅沢氏（西遅沢）圃場 なすの定植・誘引・支柱立て 11名参加
	8/9 小山氏（中塩原）圃場 大根の間引き・収穫・水洗い 12名参加
	10/18 益子氏（鍋掛）圃場 ニンジンの間引き・除草 10名参加
収穫祭	11/1 鳥野目オートキャンプ場にて、研修圃場で栽培した野菜を使用し、交流会を行った。

②シルバーファーマーの活用

シルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期生から第5期生までの人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを無料職業紹介所として行った。

（平成27年度）

シルバーファーマー養成支援塾修了生	128名	男性109名 女性19名
シルバーファーマー人材登録数	101名	男性85名 女性16名
シルバーファーマー活用登録件数	8件	
マッチング件数	5件	
マッチング人数	6名	男性6名

(9) その他目的を達成するために必要な事業

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営の推進に努めた。

〈法人管理〉

2 評議員会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（決 議）事 項	
1 回	平成 27 年 6 月 4 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度事業の報告について
		議案第 4 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度決算の承認について
2 回	平成 27 年 11 月 19 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 27 年度第 1 回補正予算の承認について
3 回	平成 28 年 3 月 14 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 27 年度第 2 回補正予算の承認について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 28 年度事業計画書及び収支予算書等の承認について

3 理事会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（決 議）事 項	
1 回	平成 27 年 5 月 19 日 那須塩原市役所 303 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社定時評議員会（第 11 回評議員会）の開催について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度事業報告について
		議案第 4 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度決算について
		議案第 5 号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第 6 号	字句修正に係る委任決議について
2 回	平成 27 年 6 月 4 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社業務執行理事（常務理事）の選定について
3 回	平成 27 年 8 月 24 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
4 回	平成 27 年 11 月 17 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社第 12 回評議員会の開催について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 27 年度第 1 回補正予算について

5回	平成28年2月25日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第13回評議員会の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度第2回補正予算について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度事業計画書及び収支予算書等について
		議案第4号	定期提出書類（事業計画書等）について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について

4 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成27年6月4日	宇都宮地方法務局	評議員、理事及び監事の変更	平成27年6月17日
平成28年3月14日	宇都宮地方法務局	評議員の変更	平成28年3月25日

5 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事項	備考
平成27年6月12日	変更届（公益目的事業1の変更）	県経営技術課
平成27年6月23日	定期提出書類（事業報告等）	県経営技術課
平成27年7月10日	変更届	県経営技術課
平成27年8月6日	変更届	県経営技術課
平成28年3月28日	定期提出書類（事業計画等）	県経営技術課

6 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成27年4月1日	那須塩原市 農務畜産課	農用地利用集積事業、農業経営改善事業、農業経営基盤強化推進対策事業（機構集積協力金推進業務）、認定農業者の会活動支援事業、農業者海外研修派遣事業、市民農園管理事業、那須塩原市農村生活研究グループ協議会活動支援事業委託契約、青木ふるさと物産センター管理業務
平成27年4月1日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館維持管理業務委託契約
平成27年4月1日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約
平成27年4月1日	(公財)栃木県 農業振興公社	特例事業業務委託契約
平成27年4月1日	(公財)栃木県 農業振興公社	農地中間管理事業業務委託契約
平成27年5月1日	(公財)栃木県 農業振興公社	農地中間管理事業業務委託変更契約
平成27年6月22日	栃木県 農村振興課	テーマ別協働実践事業業務委託契約
平成27年7月1日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」自動車用急速充電器維持管理業務委託契約
平成28年3月18日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業変更契約

7 評議員に関する事項 (平成28年3月31日現在)

氏名	就任年月日	備考
君島 寛	平成28年3月14日 就任	那須塩原市長
屋代 重夫	平成27年6月4日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
榎本 建司	平成27年6月4日 就任	那須塩原市農業委員会会長
田代 仁	平成24年10月1日 就任	黒磯土地改良区事務局長
森 アサノ	平成27年6月4日 就任	那須塩原市栃木県農業士会会長
松倉 民幸	平成27年6月4日 就任	那須塩原市認定農業者の会会長

8 役員に関する事項 (平成28年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	人見 寛敏	平成26年7月1日 就任	那須塩原市副市長
常務理事	阿美 豊	平成27年6月4日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理事	渡邊 博典	平成27年6月4日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理事	藤田 輝夫	平成26年5月29日 就任	那須塩原市産業観光部長
理事	君島 良一	平成27年6月4日 就任	那須塩原市農業委員会会長職務代理者
理事	寺崎 政徳	平成26年5月29日 就任	前那須野農業協同組合営農部長
理事	室井 一男	平成27年6月4日 就任	前那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理事	大平 和広	平成25年5月27日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監事	山田 勝己	平成27年6月4日 就任	那須野農業協同組合理事
監事	大島 厚子	平成25年5月27日 就任	那須塩原市会計管理者

9 職員に関する事項 (平成28年3月31日現在)

所属区分	人員	職員区分				備考
		市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用臨時職員	
公社事務局	事務局長	1				
	係長	2		2		
	係	6		2	2	
道の駅	所長	(1)	(1)			事務局長兼務
	係	8			8	
計	17	1	2	4	10	